

令和4年度事業報告

公益財団法人仙台ひと・まち交流財団

令和4年度の各種事業については、仙台市の「新型コロナウイルス感染症の発生に伴う仙台市の事業及び施設等の取り扱いに係るガイドライン」に基づき、各関係機関と連携を密に取り、感染拡大防止対策を徹底しながら、概ね計画通りに実施することができた。市民センターまつり等、数年ぶりに開催した事業もあり、新型コロナウイルス感染症の影響により様々な制約を余儀なくされてきた地域の賑わい回復に貢献することができた。

また、動画配信サイトを用いた事業のライブ配信を行う等、コロナ禍で取り入れてきたオンラインツールを使った事業の発信に取り組んだ。

1 地域コミュニティの振興・支援等を行い、住みよい地域社会の実現に寄与する事業

【公1】費用：5,417,027千円

(1) 生涯学習によるコミュニティの振興及び関連活動の支援事業

(定款第4条第1項第3号及び第5号の事業)

市民センターを核とした生涯学習事業等の実施や移動図書館車による図書サービスの提供などを通して、地域での交流を促進し、主体的な活動を行う団体や人々を支援することで地域づくりを行った。

① ライフステージに併せた生涯学習事業

育児期や青年期、高齢期などのライフステージや、社会の変化に伴って生じる高齢化、安全・安心など、様々な課題に応じた学習機会を提供し、必要な知識や対応力等を身につけることができる事業を実施した。

(事業例)

- 近隣の子育て支援施設と連携し、地域一体となって子育てを支援する講座
- 中学生の社会性を育み、職業観を養う講座
- シニア世代のスマートフォン初心者がデジタル活用の基本を学ぶ講座

② 市民参画推進事業

市民が自ら学ぶことにより地域で主体的に活動し、学習成果を発揮できるよう、「学び」「交流」「行動」のあり方について参加者の意見が反映されるように工夫しながら、市民参画を推進する事業を実施した。

(事業例)

- 市民企画員が自ら学んだ地域資源を題材に地域クイズを作成した講座
- 小学生が地域の魅力発信のために企画した講座
- おやじの会等が地域の子どもたちのために企画した講座

③ 地域に関心を向ける事業

地域を見直し、関心や愛着を持つきっかけを作るために、歴史、自然、行事などの地域の資源や素材を生かした事業を実施した。また、地域団体や学校等との連携を通して、地域住民同士の顔の見える関係づくりにつなげ、地域の状況や地域活動へ関心を向けるきっかけづくりとなる事業を実施した。

(事業例)

- 伝承文化を地域に広める講座
- 小学生が地域の自然を学ぶことでふるさとの魅力を知る講座
- 地域防災講座

④ 地域で活動する人材の育成事業

自らの学習成果を生かして、ボランティアとして地域で活動できる人材を育てる事業を実施するとともに、これらの活動が継続できるよう支援した。

(事業例)

- 読み聞かせボランティア養成講座
- 地域ガイドボランティア養成講座
- 折り紙ボランティア養成講座

⑤ 世代を超えた地域の交流事業

世代を超えて、気軽に参加できるイベントや体験活動を通して、地域住民同士の交流や地域活動の推進につなげるため、コロナ禍において、三密を避ける工夫を行い、感染症防止対策を徹底したうえで事業を実施した。

また、地域住民同士の交流を通して、次世代を担う子どもたちを地域ぐるみで見守り育てる体制づくりや、地域防犯・防災体制の強化につながるよう取り組んだ。

(事業例)

- 市民センターまつり（事前に撮影した動画上映や演目を絞ってのステージ発表、展示等）
- コンサート（屋外開催、座席制限）
- 小・中学生の企画員が地域団体と一緒に企画・運営するイベント

[コミュニティ振興のための生涯学習事業の実績（①～⑤の合計）]

	講座等		
	4年度	3年度	前年度比
事業数	722	630	114.6%
回数	3,164	2,499	126.6%
延べ参加者数	135,477	68,236	198.5%

※講座等…予め日時、回数等を決め、参加者を広く募集して行う主催・共催の講座等

⑥ 大会・研究集会の開催

■ ひと★まち市民センターフォーラム もっと身近にSDGs～知って広がる可能性～

第1部の特別講演では、SDGsの目標について理解を深めるとともに、普段の自分自身の行動とSDGsの繋がりを学び、誰でもできるSDGsの取り組みについて専門家に講演してもらった。第2部では、市民センターにおいても、持続可能な社会に向けた学び等へ取り組んでいることを知ってもらうため、令和4年度に実施した市民センター事業の中から、SDGsにかかる事業の取り組み発表と市民企画会議の紹介を行った。

- ・実施日：令和5年3月4日(土)
- ・会場：太白区文化センター 展示ホール
- ・来場者数：60名

⑦ 地域活動拠点施設等の運営及び地域活動団体支援事業

町内会、ボランティア団体、文化・スポーツ団体など地域にある多種多様な団体が安全・安心・快適に活動できるよう、市民センターの維持管理・運営を適切に行い、ホールや会議室等を利用に供した。

[市民センターの利用件数・利用率]

		利用件数			利用率		
		4年度 (件)	3年度 (件)	前年度比	4年度 (%)	3年度 (%)	増減
青葉区		40,442	31,312	129.2%	72.8	60.6	12.2
宮城野区		27,840	21,180	131.4%	69.3	55.3	14.0
若林区		15,857	12,655	125.3%	68.7	57.5	11.2
太白区		28,180	21,178	133.1%	62.7	50.9	11.8
泉区		30,411	24,361	124.8%	68.7	53.7	15.0
各区計	合計	142,730	110,686	129.0%	68.5	55.6	12.9
	1館1月平均	203.0	159.7				

※備考

- ・利用件数 部屋毎、日毎に算出
- ・1館1月平均利用件数 年間利用件数 ÷ (館数×12ヶ月－休館月数)
- ・利用率 総利用日数 ÷ 総開館日数
(総利用日数 = 各室利用日数の合計)
(総開館日数 = 各室利用可能日数の合計)

⑧ 地域情報等の収集・提供及び相談事業

地域にある様々な資源(歴史、文化、自然、行事、施設等)や地域で活動する人材・団体情報、生涯学習関連の情報などを収集し、地域住民等へホームページ及び広報紙などで提供した。

また、それらの情報をもとに市民の主体的な学習や活動の相談に応じた。

⑨ 移動図書館車による図書サービスの提供事業

- 図書館を利用しにくい地域を中心に仙台市内各地を移動図書館車で巡回し、ライフステージに合わせた図書の紹介や読書活動の推進を図りながら、図書サービスを提供した。

市内 76 か所を対象に、2 週間に 1 回の周期で、移動図書館車両で図書サービスを提供した。巡回実施にあたっては、各巡回場所の利用者の状況等を担当課全職員が共有し、この情報を意識して図書を選別するよう努め、利用者のライフステージに合わせた図書紹介を推進した。

また、読書活動推進の取り組みとしては、利用者等との会話を通じての読書の促しを行うとともに、新たな取り組みとして、巡回場所の一つである湯元小学校と連携して、全児童の図書利用者カードの作成や児童の移動図書館図書の借り方体験、児童や保護者を対象とした積載図書希望調査を実施した。

- 定期的に巡回する移動図書館車を臨時の地域拠点として、そこに集まる人々が図書を通して交流できる場になるよう取り組んだ。

移動図書館の利用者が利用者同士や、市民センター等巡回先職員等と会話を通じて交流しやすいよう、財団職員から利用者への積極的な声掛け等を行った。また、新たな取り組みとして、巡回場所の一つである六郷市民センターと連携して、「六郷市民まつり」での移動図書館車両の展示等を行ったほか、「向山子ども園 あかねフェスティバル」や「仙台市 PTA フェスティバル」に参加し、地域交流の場づくりに寄与することができた。

- 地域住民に対して本の貸し出しの機会を生かし、チラシの配布等による地域住民のニーズに沿った情報提供を行い、コミュニティの場の創出につながるよう取り組んだ。

コミュニティづくりの基となる集客に向けた取り組みとして、巡回場所並びにその周辺地域へ巡回を周知するポスター掲示やチラシ配布を町内会の協力を得て実施した。

[移動図書館事業実績の推移]

項目	令和 4 年度	令和 3 年度	前年度比
利用者数 (人)	20,247	17,750	114.1%
貸出冊数 (冊)	109,777	96,233	114.1%
予約冊数 (冊)	9,140	8,963	102.0%
レファレンス数 (件)	160	162	98.8%
巡回数 (回)	1,693	1,538	110.1%
運行日数 (日)	225	205	109.8%
1巡回平均利用者数 (人)	12	11.5	104.3%
1巡回平均貸出冊数 (冊)	64.8	62.6	103.5%
1人当たりの貸出冊数 (冊)	5.4	5.4	100.0%

(2) 児童の健全育成による地域コミュニティづくり支援事業

(定款第4条第1項第4号の事業)

地域における遊びを通じた子どもの健全育成や子育て支援のネットワーク拠点として、地域諸団体等と連携しながら、児童の健全育成、子育て家庭支援、地域交流推進、放課後児童健全育成の4つの機能を果たすために、地域性を踏まえた児童館事業に取り組んだ。

① 児童健全育成事業

自由来館児童への遊び場の提供に加え、遊びの支援や各種行事等を通して児童の健全育成を図った。

ア 子どもの自主性や協調性を育てる事業

子どもが自ら考えて遊びに取り組むことで自主性を培い、集団の遊びを通して相手を思いやる心や仲間大切さなど、協調性を育む事業を実施した。

(事業例)

- 子ども会議
- 高学年クラブ
- 自然タイム

イ 親子の交流事業

親子の交流を通して、親子での触れ合いや子どもの成長を喜びあう機会など、親としての成長と子どもの成長を育む事業を実施した。

(事業例)

- 親子ピクス
- 運動会ごっこ
- ちびっこフェス

ウ 広域利用促進事業

■ 第9回ひと☆まち児童館フェスタ～笑顔ひろがる遊びのWA！～

児童館の日常の活動を発信して親子の利用促進を図るため、家族で楽しみながら児童館の様々な活動を体験できる場とし、財団リレー事業「ひと☆まち CONNECT selection program 2022 ～親子で楽しむ5つのステージ～」ステージ2として開催した。未就学児から小中高生までがそれぞれのブースで児童館の遊びを体験でき、遊びを通して楽しみながら親子交流や異年齢交流のできる児童館合同行事として企画した。当日は市内各区から親子が集い、全市的な児童館行事として、笑顔あふれる賑わいとなった。

- ・実施日：令和4年11月13日(日)
- ・会場：太白区中央市民センター 体育館、長町児童館遊戯室
- ・来場者数：499名(午前：255名、午後：244名) ※事前申込制・定員制

② 子育て家庭支援事業

親子を対象とした行事や幼児クラブの開設、子育て相談、子育てサークル等の育成などにより、子育て家庭への支援を行った。

ア 乳幼児親子の交流事業

親子のふれあい遊びや保護者、乳幼児同士の交流を通して、心身の成長を図りコミュニケーションをとりながら友だちづくりができるよう、発達段階に応じた活動や異年齢交流の事業を実施した。

(事業例)

- 子どもの杜
- 童謡のひろばコンサート
- 子育てセミナー

イ 育児情報の提供及び育児相談事業

児童館を拠点に民生委員児童委員や保育士、地域の子育て経験者などと連携し、保護者が子育ての悩みを抱え、孤立することのないよう、育児相談や学習の場として、子育て家庭への支援を行った。

ウ 保護者支援事業

■ 第1回ひと☆まち児童館子育てセミナー

日々の子育ての悩みや成長の気になるお子さんの子育ての悩みなどについて、気軽に相談しながら学識経験者から学ぶことのできる場として新たに開催した。子どもや保護者を取り巻く課題について、日頃の児童館利用者に即した内容となるよう各区を会場にそれぞれテーマを設けて行った。

- ・参加者数：延べ108名(全5回)
- ・青葉区会場：「家庭でできるカード遊び」
令和4年9月10日(土) 木町通市民センター 第1会議室
講師：東北福祉大学 教授 三浦和美
- ・若林区会場：「家族で体験!あやとり&お手玉」
令和4年9月24日(土) 若林区中央市民センター ホール
講師：尚綱学院大学 教授 安藤正樹
- ・太白区会場：「親子で運動遊び!」
令和4年10月1日(土) 太白区中央市民センター 体育館
講師：仙台白百合女子大学 講師 仁藤喜久子
- ・宮城野区会場：「子どもと言葉を育てる」
令和4年10月15日(土) 宮城野区中央市民センター 第3会議室
講師：東北福祉大学 教授 大西孝志
- ・泉区会場：「子どもの発達と子育て環境」
令和4年10月22日(土) 将監市民センター 第2研修室
講師：(特活)自閉症ピアリンクセンターここねっと法人センター長 黒澤哲

③ 地域交流推進事業

地域との連携事業の実施や交流活動を通して地域コミュニティの活性化を図るとともに、子育て支援クラブや子ども会などの児童館を拠点に活動する、児童の健全育成を図る団体の育成支援を行った。

ア 子どもと地域の交流促進事業

地域や世代を越えた交流を通して、地域を学ぶ機会や相手に対するいたわりの心を育むなど、社会性を育てる事業を実施した。

(事業例)

- 児童館まつり・児童センターまつり
- こども農学校
- 歴史たんけん隊

イ 子育て関係団体支援事業

児童健全育成に理解、関心を持つ地域住民、子育て支援団体（子育て支援クラブ、読み聞かせボランティア等）、子ども会育成会などの関係機関や地域の人材、中高生などとの日常的な関わりや連携を強化するために、児童館がこれらの子育てに関わる活動の拠点となり、協力関係を構築、推進する事業を実施した。

(事業例)

- 子育て井戸端会議
- ちびっこひろば
- 童謡のひろばコンサート

④ 放課後児童健全育成事業

就労等により放課後等に保護者が家庭にいない小学生の児童を対象に、児童館・児童センターにおいて「遊びの場」「生活の場」を提供し、健全育成を図った。

[児童クラブ登録者数等]

(単位：人)

	令和4年度 (80館)	令和3年度 (80館)	前年度比
登録者数	9,402	8,694	108.1%
延長登録者数	2,837	2,714	104.6%

※登録者数・延長登録者数は、4月1日現在の人数

⑤ 児童館・児童センター運営事業

子どもが安全・安心に過ごし、遊びや集団活動を通して豊かな経験と成長を育み、お互いを仲間として尊重しあい成長していくことができるよう、ソフト・ハード両面においての環境整備に取り組んだ。

[児童館・児童センター来館者数]

(単位：人)

	令和4年度 (80館)	令和3年度 (81館)	前年度比
幼 児	73,197	48,220	151.8%
小学生	1,220,764	1,094,836	111.5%
中学生	2,372	839	282.7%
高校生	740	311	237.9%
その他	88,298	59,339	148.8%
合 計	1,385,371	1,203,545	115.1%
1館1月平均	1443.1	1,238.2	

※大竹児童館は、令和3年9月末をもって閉館

⑥ 大会・研究集会の開催

■ 第6回ひと☆まち児童館フォーラム in 仙台～子どもの豊かさを育む児童文化～

児童館職員が中心となって今後の子どもを取り巻く地域環境を展望しつつ、児童館の基本に立ちかえり、児童館の今日的役割について、所属や地域を越えて共に学び・考える場として開催した。県内外に広く参加を呼びかけて、児童館職員による主体的な自己研鑽の機会とした。特別講演は動画によるライブ配信を行い、多様な参加形態を設け、全国に発信した。

- ・実施日：令和5年2月26日(日)
- ・会場：戦災復興記念館 記念ホール、各会議室
- ・参加者数：186名 (ライブ配信時視聴者数：76名)
- ・特別講演「児童文化とは『声』である～仙台児童文化史を振り返りながら～」
講師：武蔵野大学 名誉教授 宮川健郎
- ・分科会
 - 第1分科会「行きつ戻りつ絵本作り」
講師：絵本作家 とよたかずひこ
 - 第2分科会「早苗会における児童文化財の紹介」
講師：宮城県立保育専門学院同窓会 早苗会
 - 第3分科会「地域の子どもたちと児童文化～旧宮城県中央児童館の活動から」
講師：(特非) みやぎ・せんだい子どもの丘 副理事長 新田新一郎
 - 第4分科会「アニメーションでコミュニケーション」
講師：白百合女子大学児童文化学科 講師 やたみほ
 - 第5分科会「おてんとさんの輝き 天江富弥とスズキヘキ」
講師：仙台文学館 学芸員 庄司潤子
 - 第6分科会「伝承遊びと児童文化財」
講師：(特非) 日本子どもと伝承遊び学会 副会長 安藤正樹

(3) 地域文化活動振興による地域コミュニティづくり支援事業

(定款第4条第1項第2号の事業)

戦災復興記念館及び文化センターでは、施設管理の業務にとどまらず、地域の文化や特性などを生かした多様な自主事業を展開し、市民の文化・芸術活動を通じた地域づくり、未来を支えるコミュニティづくりの発展に積極的に取り組んだ。

① 地域文化創造事業

住民の地域への誇りや愛着を深め、地域社会の連帯感を高めるため、共通のよりどころとなる地域の歴史、風土等に培われた特色ある伝統的な文化を生かした事業を実施した。

また、地域住民や各施設の利用者などと連携し、地域から新しい文化芸術活動を創造し、発信するための事業を実施した。

(主な事業)

ア 戦災復興記念館

■ 仙台いぐすか寄席【第2回】

世代を超えて気軽に寄席を楽しみ、笑いを共有できる場の創出を目指し、地域の民俗芸能団体と連携、協力し、仙台と関わりのある落語家などを迎えて開催した。

- ・実施日：令和5年1月20日(金)
- ・会場：戦災復興記念館 記念ホール
- ・出演者：六花亭遊花、大友憧山、春風亭与いち
- ・入場者：昼席242名、夜席168名

■ 戦災復興記念館コンサート2023 春風の調べ～ピアノの音色とともに～【第10回】

春を迎える季節に、未来を担う若い音楽家や市内の音楽教室に通う小中高生による優しく柔らかなピアノの演奏を多くの人に聴いてもらうことを目的に、財団リレー事業「ひと☆まちCONNECT selection program 2022 ～親子で楽しむ5つのステージ～」ステージ5として開催した。

- ・実施日：令和5年3月5日(日)
- ・会場：戦災復興記念館 記念ホール
- ・入場者：210名
- ・出演者：佐藤和貴、渡邊真司、菅原達郎、サンリツ楽器、ヤマハミュージックリテイリング仙台店

■ 歴史ミュージアムネットワーク(通称：歴ネット)

仙台市内にある9つの歴史・文化系の施設で結成した歴ネットは、仙台の歴史・文化に親しんでもらうために、解説シート「歴ネットシート」の作成やイベントを行っており、その一環でスタンプラリーイベントや伝統門松の展示等を実施した。

◎大規模改修工事のため中止した事業

- ・街なかコンサート@戦災復興記念館
「仙台クラシックフェスティバル(せんくら)」のプレイベント

イ 宮城野区文化センター

■ ワンコインコンサート

地域住民が手頃な料金で、クオリティの高い音楽に親しめるよう、平成 25 年度からシリーズ化して実施している。夜間の催事に足を運びづらい方にも気軽に来てもらえるよう、平日昼間に開催した。

	実施日	出演者
第 47 回	令和 4 年 5 月 19 日(木)	遠藤恭子 (メゾソプラノ) 高橋麻子 (ピアノ)
第 48 回	令和 4 年 7 月 28 日(木)	西沢澄博 (オーボエ) 文京華 (ピアノ)
第 49 回	令和 4 年 9 月 22 日(木)	ダビット・ヤジンスキー (クラリネット) 山岸亜貴 (オーボエ) 門脇磨美子 (ピアノ)
第 50 回	令和 5 年 1 月 26 日(木)	山川充 (ピアノ)
第 51 回	令和 5 年 3 月 16 日(木)	菅英三子 (ソプラノ) 千葉祥子 (ピアノ)

・会 場：宮城野区文化センター コンサートホール

・入場者数：延べ 1,564 名 (5 回計)

■ こどものためのワンコインコンサート【第 1 回】

地域の親子が気軽に参加でき、楽しみながら音楽に親しむ機会として、夏休み期間中の祝日に子ども向けのクラシックコンサートを開催した。演奏を聴くだけでなく、子どもたちが楽器を弾いたり、指揮者を体験したりできるコーナーも設けて実施した。

・実 施 日：令和 4 年 8 月 11 日(木・祝)

・会 場：宮城野区文化センター コンサートホール

・出 演 者：小川有紀子 (ヴァイオリン)、宮寄英美 (フルート)、佐々木祥 (打楽器)

・入場者数：入場者数：252 名

■ ワンコインシアター

演劇やリーディングを気軽に味わうことができるパトナシアターならではのステージイベントとして、令和 2 年度からシリーズ化して実施している。公演内容は、演劇や文学に馴染みが薄い方々にも楽しめるものとし、仙台の演劇人等の活躍の場を広げるとともに、言葉の芸術に親しむ市民のすそ野を広げていくことを目指した。夜間の催事に足を運びづらい方や、日中働いている方や学生の方にも来場してもらえるよう、昼間と夜間の 2 回公演で開催した。

・実 施 日：令和 4 年 6 月 9 日(木) vol. 7 「飛び花座 宮城野寄席」
令和 4 年 10 月 15 日(土) vol. 8 「井上ひさし『十二人の手紙』を読む」
令和 4 年 12 月 22 日(木) vol. 9 演劇「あなたと夜と音楽と」
令和 5 年 2 月 23 日(木・祝) vol. 10 Reading Stage 「道の奥には」

・会 場：宮城野区文化センター シアターホール

・入場者数：延べ 1,012 名 (8 回計)

- ・会場：宮城野区文化センター リハーサル室
- ・講師：よしだめぐみ（パフォーミングアーティスト）
鈴木詩乃（パフォーマー）
- ・参加者数：延べ 68 名（全 5 回）

■ 宮城野うたまつり【第 8 回】

「歌のチカラでみんな元気に！」という趣旨のもと、地域（宮城野区）の発展と交流そして復興を願いながら、地域の合唱サークルを中心とした合唱祭を市民センターと共催で開催した。

- ・実施日：令和 4 年 9 月 10 日（土）
- ・会場：宮城野区文化センター コンサートホール
- ・入場者数：186 名
- ・出演者：ぴあま〜る（仙萩の杜）、みやぎ紫金草合唱団、MMC ♪天使合唱団
他 9 団体（約 197 名）

■ 親子で落語体験・ワークショップ&落語会【第 1 回】

子どもたちが伝統文化に触れ、体験する機会として、(公社)落語芸術協会と共催で開催した。落語会の前に親子で体験できるワークショップを開催し、プロの落語家からおそばを食べる仕草やお囃子を習うことで、落語の面白さを感じながら、伝統文化を楽しんでもらえるよう財団リレー事業「ひと☆まち CONNECT selection program 2022 ～親子で楽しむ 5 つのステージ～」ステージ 3 として実施した。

- ・実施日：令和 5 年 1 月 21 日（土）
- ・会場：宮城野区文化センター シアターホール・リハーサル室
- ・入場者数：118 名
- ・ワークショップ参加者数：27 名

■ みんなの広場づくりプロジェクト【第 10 シーズン】

地域の方々の交流の場となる「みんなの広場」としての空間づくりと、創造性豊かな子どもの育成、区内の若い世代による創作及び普及活動の支援を目的として文化センター内外に飾り付けを行った。

- ・実施回数：年 7 回

(主な展示等)

□ 「空間のアトリエ」

地域の保育園、幼稚園、児童館の協力を得て、こいのぼりや七夕吹流し、ウィンターツリーなどを作製し、吹抜けに展示した。併せて、施設の利用者にも「つながるこいのぼり」や「願い星飾り」、「冬のガーランド」を作製してもらい展示した。

□ 「お花をいっぱい咲かせよう」

併設施設の原町児童館と文化センター前広場に設置しているプランターの植物の植え替えを行った。

□ 「夢ギャラリー」

区内の学生を対象にパブリックスペースを会場とした発表の場を提供し、文化センターの賑わいを創設した。宮城県宮城野高等学校美術科の卒業制作展と東北芸術高等専修学校・北海道芸術高等学校ファッション・ビューティーコース、マンガ・イラストコース、美術コースの作品展を行った。

ウ 若林区文化センター

■ ダンス・フェスティバル in 仙台【第11回】

フラダンスの団体を中心に、市内で活動する各種ダンスの団体による発表の場と、地域住民の鑑賞の機会を提供することで、人や文化の交流を深めるとともに、多くの市民にダンスを身近なものとして感じてもらうことを目的として開催した。

また、催事運営にあたっては、福島県いわき市の「NPO 法人フラガールズ甲子園」と連携・協力して実施した。

- ・実施日：令和4年7月23日(土)
- ・会場：若林区文化センター ホール
- ・入場者数：489名
- ・出演者：若林チアリーダー、聖和学園高等学校チアリーディング部、宮城県宮城第一高等学校ジャズダンス部 他7団体(約220名)

■ 若林区童謡フェスティバル【第27回】

地域文化の振興と向上のため、幅広い世代に親しまれている童謡文化などの継承発展と地域住民の交流促進を図るとともに、よりよい地域コミュニティづくりを推進することを目的として、令和4年度はホール天井スリット部落下により、ホールが利用休止になったため、展示ホールを会場にミニコンサートとして開催した。

- ・実施日：令和4年11月12日(土)
- ・会場：若林区文化センター 展示ホール
- ・入場者数：100名
- ・出演者：るるる^{らぶ}ハーモニー、宮城県仙台二華中学校・高等学校音楽部、コールはまなす、聖和学園高等学校合唱部
(ゲスト) 仙台童謡愛好会Bグループ HAPPY RABBIT、宮城学院女子大学音楽リエゾンセンター
計7団体(73名)

■ わかぶん吹奏楽フェスティバル【第2回】

区内で活動する、実績ある吹奏楽団体の素晴らしい演奏を地域資源とし、多くのメンバーで一つのを創りあげる吹奏楽の魅力を広く地域の方々に伝え、人と地域の交流を図る機会となるよう開催した。令和4年度はホール天井スリット部落下により、ホールが利用休止になったため、展示ホールを会場にアンサンブルコンサートとして開催した。

- ・実施日：令和5年1月9日(月)
- ・会場：若林区文化センター 展示ホール
- ・入場者数：100名
- ・出演者：仙台市立南小泉中学校吹奏楽部、仙台市立八軒中学校吹奏楽部、聖ウルスラ学院英智高等学校の3団体(70名)

■ アート・ギャラリー「わかぶん」

若林区民手づくりによる身近なアートの発表の機会や、市民の憩いの場の提供を図ることを目的として、また、若林区の魅力アップを図る空間、或いは新たなつながりを創り出す空間となるような、各種の展示発表等を行った。

(主な催事)

□ デイサービス合同作品展

若林区内にあるデイサービスでの活動の発表の場として、また、出展者同士のコミュニティの場となることを目的として、複数のデイサービス施設と共催し、デイサービス利用者の活動で制作された作品の展示発表を行い、地域の方々に見ていただく機会とした。

・実施日：①令和4年8月27日(土)～9月19日(月・祝)

②令和5年1月7日(土)～1月22日(日)

・来場者数：①430名 ②250名

□ ミュージックギャラリーわかぶん 2022【第9回】

地域住民が身近な場所で気軽に音楽に触れ、親しんでもらうことを目的に、文化センターの利用者が出演し、演奏を披露する、アットホームなミニコンサートを展示ホールにて開催した。

・実施日：令和4年12月3日(土)

・来場者数：50名

□ 合同個人発表作品展

絵画や写真などの文化芸術活動に取り組んでいる若林区在住の個人に、日頃の活動成果の発表の機会を提供するとともに、文化芸術活動を通じた様々な人の繋がりとコミュニケーションを創出することを目的として、絵画や彫刻などの作品展示会を開催した。

・実施日：令和5年2月20日(月)～3月5日(日)

・出展者数：10名

・来場者数：340名

エ 太白区文化センター

■ 楽楽楽文化祭 2023【第6回】

アートを通じて障がい者等少数の立場に置かれている方々が社会と積極的に関わりを持つための活動をしている団体等と協力して、地域住民のみならず、文化センターに来館した誰もが気軽に多様な文化芸術に親しみ、体感することを目的に複合イベントを財団リレー事業「ひと☆まち CONNECT selection program 2022 ～親子で楽しむ5つのステージ～」ステージ4として実施した。

普段、イベントに参加する機会が少ないと思われる障がい者や乳幼児親子、高齢者等にも楽しんでもらえるよう、体験ワークショップ「アートタウン SENDAI」や、誰でも楽しめる構成のコンサート「春の響きコンサート」、楽楽楽ホールホワイエを会場として「楽楽楽マルシェ！」等を開催した。

・実施日：令和5年1月22日(日)

・会場：太白区文化センター 展示ホール、楽楽楽ホール

・共催：一般社団法人アート・インクルージョン、特定非営利活動法人ほっぶの森

・入場者数：延べ800名

■ 楽楽楽ミュージックフェスティバル 2023【第10回】

太白区内の中高校生や、地域で活動している音楽サークル団体に、その成果発表の機会と交流の場を提供し地域文化の向上を図り、加えて、音楽会を通じて住民の「絆」

を深めるとともに、賑わいのあるまちづくりに貢献する「音楽祭」を地域文化施設のシンボルである「楽楽楽ホール」で第1部合唱、第2部吹奏楽の2部構成で実施した。

- ・実施日：令和5年1月29日(日)
- ・会場：太白区文化センター 楽楽楽ホール
- ・出演団体：24団体 540名

女声合唱団八木山コーラス、山の幼稚園合唱団、女性合唱団みやぎ、コール・ソレイユ、コーロ・バンビーニ、宮城県仙台三桜高等学校音楽部、ラエトワール、コールブリランテ、宮城県仙台南高等学校音楽部合唱団、仙台市立人來田中学校、仙台市立茂庭台中学校、宮城県仙台西高等学校、聖和学園高等学校、仙台市立八木山中学校、仙台北南高等学校、仙台市立柳生中学校、仙台市立郡山中学校、仙台市立袋原中学校、仙台市立山田中学校、仙台市立富沢中学校、仙台吹奏楽団、仙台市立中田中学校、宮城県仙台向山高等学校、宮城県仙台南高等学校

- ・入場者数：延べ1,700名（第1部300名、第2部1,400名）

■ 楽楽楽ステージパフォーマンス 2022【第10回】

可変式の楽楽楽ホールの特徴を活かし、4種類の舞台のうち、三方から観覧できるパフォーマンスに最適なオープンステージを使用して実施した。地域や文化センターで活動している団体が出演し、ビッグバンドやダンスなど、多彩なパフォーマンスを披露した。また、コロナ禍ではあったが昨年より出演団体を1団体増やしての開催となった。

- ・実施日：令和4年11月6日(日)
- ・会場：太白区文化センター 楽楽楽ホール
- ・出演団体：5団体 100名

仙台市立八木山小学校バンドサークル“夢色音楽隊”，フラサークルピカケ、ヴェーリャ仙台、八木山すずめでござる、宮城県仙台西高等学校 放送部（司会）

- ・入場者数：237名

■ 長町からJAZZに触れるクリニック&コンサート【第2回】

地域における文化芸術の向上と青少年の育成・交流を図ることを目的に、区内で活動している文化芸術団体の協力を得て、音楽の素晴らしさを教育的な観点から提供するミュージッククリニックを中学生と高校生を対象に実施した。クリニック終了後には、心安らぐひと時を感じてもらおうジャズコンサートを開催した。

- ・実施日：令和5年3月4日(土)
- ・会場：太白区文化センター 楽楽楽ホール
- ・ミュージッククリニック

仙台市立長町中学校吹奏学部 31名、仙台北南高等学校吹奏楽部 27名

- ・ジャズコンサート

熊谷 駿（サクソ）、岡本 優子（ピアノ）、三ヶ田 伸也（ベース）、今村 陽太郎（ドラム）

- ・入場者数：521名

■ ミニギャラリー展示

1階エントランスの掲示スペースを「太白区文化センターミニギャラリー」とし、文化センターを利用するサークル団体の絵画や書道等の作品を展示した。併せて、財

団の運営する児童館や近隣団体等と連携し、来館者に楽しんでいただける場づくりや地域の情報発信を行った。

- ・実施回数：年 15 回

(主な展示)

- 絵画サークル「植物画を描く会」の作品展示
 - ・実施日：令和 4 年 5 月 27 日(金)～6 月 8 日(水)
- 長町児童館「星に願いを」として短冊を展示
 - ・実施日：令和 4 年 7 月 26 日(火)～8 月 11 日(木・祝)
- 「仙台空襲展」パネル、実物資料展示
 - ・実施日：令和 4 年 8 月 14 日(日)～8 月 28 日(日)
- 郡山児童館 児童クラブの子どもたちの作品展示
 - ・実施日：令和 4 年 9 月 1 日(木)～9 月 14 日(水)
- 中田児童館 児童館利用の子どもたちの作品展示
 - ・実施日：令和 4 年 9 月 18 日(日)～10 月 2 日(日)
- 「ながまち交流フェスタ」 太白区内 3 小学校の作品展示
 - ・実施日：令和 4 年 10 月 14 日(金)～11 月 8 日(火)
- 仙台市小学生防火ポスターコンクール作品展示
 - ・実施日：令和 4 年 11 月 15 日(火)～11 月 21 日(月)
- 宮城県聴覚支援学校生徒の絵画・工芸作品展示
 - ・実施日：令和 5 年 2 月 21 日(火)～3 月 7 日(火)

■ 夏休み企画「ほしひろば」

ミニギャラリーの七夕展示や仙台七夕まつりなどの期間に併せて、長町児童館の協力を得て、近隣にお住いのお子さんや児童館に来ている小学生を対象として、文化センターに親しむ機会をつくることを目的として実施した。

今回は、紙コップを歯車のように広げてデコレーションし、中心にペットボトルのふたを付けてこまを作り、エントランススペースで実際にこまを回したり飛ばしたりして遊んだ。

- ・実施日：令和 4 年 8 月 8 日(月)
- ・会場：太白区文化センター 1 階エントランススペース
- ・共催：長町児童館
- ・参加者数：44 名

オ 広瀬文化センター

■ 広瀬から創ろう!!ブロードウェイ!!～パフォーマンス集団「白A」と一緒に～【第2回】

広瀬高等学校演劇部の卒業生を中心に結成され、現在では国内外で高く評価されている白Aのプロデュースによる屋外ステージイベントを財団リレー事業「ひと☆まちCONNECT selection program 2022 ～親子で楽しむ5つのステージ～」ステージ1として開催した。

屋外ステージイベントの開催に先立ち、令和 4 年 9 月 11 日(日)に折立市民センター及び折立児童館と連携し、それぞれの専門性を活かしながら折立市民センター自主事業「親子たいけん隊②」として「アート作品づくりワークショップ」を開催したほか、令和 4 年 8 月 29 日(月)からは宮城地区に活動拠点を置くダンススクールと連携して「ダンスワークショップ」を5日間開催し、それぞれのワークショップで創り上

げた作品を屋外ステージイベントで披露するなど、参加者とともに創り上げるイベントを開催した。

- ・実施日：令和4年10月9日(日)
- ・会場：広瀬文化センター 正面玄関前屋外特設ステージ
- ・来場者数：300名
- ・出演者：パフォーマンス集団「白A」
DANCE SCHOOL ATOMS、黒脛巾組
- ・ワークショップ参加者数：47名
(アート作品づくりワークショップ37名、ダンスワークショップ10名)

■ ひろせサマーナイトコンサート2022 民俗芸能フェスティバル【第13回】

新旧住民の交流促進や魅力ある地域コミュニティづくりに資することを目的に、夏の夜の屋外イベントを開催した。

当日は、ジュニアリーダーの司会のもとで、文化センター利用団体や地域の民俗芸能団体による発表を特設ステージで行った。また、敷地内では町内会や自治会、各種団体の協力のもと、子ども向けのお楽しみコーナーを設けた。なお、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、飲食を伴う屋台は中止とした。

- ・実施日：令和4年8月6日(土)
- ・会場：広瀬文化センター 正面玄関前屋外特設ステージ、ホールホワイエ等
- ・来場者数：500名
- ・出演者：9団体(ソロ出演1名を含む)

■ ひろせワクワクシアター【第9回】

魅力ある映画作品を家族や友人と一緒に鑑賞する楽しみを通じて、地域における文化の振興や、市民の教養・レクリエーション等に資することを目的に、併設施設の広瀬図書館と共催し、親子で楽しめる映画上映会を開催した。

映像音響のマルチメディア対応空間であるホールの多機能性の紹介と、様々な映画・音楽メディアを貸し出している図書館業務の紹介を行い、施設相互の市民利用機会増進を図る上映会とした。

- ・実施日：令和4年8月28日(日)
- ・会場：広瀬文化センター ホール
- ・上映映画：『ボス・ベイビー ファミリー・ミッション』
- ・入場者数：延べ416名(全2回)

■ 一撮る・観る・想うー PHOTO HIROSE 2022【第9回】

ロビー等の空間を活用しながら、地域の団体に日ごろの活動の成果発表の機会を提供することを目的に、地元の写真サークルや高等学校写真部と連携して写真展を開催した。

- ・実施日：令和4年12月6日(火)～12月18日(日)
- ・会場：広瀬文化センター 1階ロビー、2階オープンスペース、2階オープンステージ
- ・参加団体：地域の写真サークル、高等学校写真部、高等専門学校写真部
- ・来場者数：延べ843名

■ 「マイステージ in ひろせ」「マイギャラリー in ひろせ」

2階オープンステージを活用してコンサートを実施する「マイステージ in ひろせ」

と、1階ロビーや2階オープンスペースを活用して絵画や写真などの市民作品を展示する「マイギャラリー in ひろせ」を通年開催しており、令和4年度は19事業の展示等が行われた。

- ・ひろせすずめっ子「ひろせすずめっ子展示」
令和4年8月6日(土)～8月20日(土)
- ・広瀬市民センター「心にビタミン！コンサート2022」
令和4年12月4日(日)
- ・広瀬中学校等4校特別支援教室「はばたけ展」
令和5年2月7日(火)～2月19日(日) ほか

◎ ホール舞台機構改修工事のため中止した事業

- ・ミュージックフェスティバル広瀬のひびき Swing & Harmony
- ・広瀬文化センター、広瀬市民センター、広瀬図書館による3館連携事業

カ ひと☆まち CONNECT selection program 2022 ～親子で楽しむ5つのステージ～

当財団の長期ビジョン「ひと・まちビジョン 2022-2031」でキーワードとしている「ひとのつながり・まちのひろがり」が事業の実施を通して地域に浸透し、豊かな地域社会の創造につながることを目指し、令和4年度は「親子で楽しむ」をテーマに、各文化センターと児童館・児童センターの5事業をリレー形式で開催した。

- stage1 広瀬文化センター 令和4年10月9日(日)
広瀬から創ろう!!ブロードウェイ!!～パフォーマンス集団「白A」と一緒に～
- stage2 児童館・児童センター 令和4年11月13日(日)
第9回ひと☆まち児童館フェスタ～笑顔広がる遊びのWA!～
- stage3 宮城野区文化センター 令和5年1月21日(土)
親子で落語体験・ワークショップ&落語会
- stage4 太白区文化センター 令和5年1月22日(日)
楽楽楽文化祭2023
- stage5 戦災復興記念館 令和5年3月5日(日)
戦災復興記念館コンサート2022 春風の調べ～ピアノの音色とともに～

② 文化活動拠点施設等の運営及び文化活動の育成支援事業

ア 地域文化活動拠点施設等の管理運営

仙台市内にある数多くの文化芸術団体に対して、必要な練習や発表の場を提供し、文化芸術の向上が図られるよう、文化センター等のホールや会議室等を利用に供するなどの施設運営を行った。なお、施設貸出にあたっては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のため、サーマルカメラや消毒用アルコールの設置・活用、利用後の施設の消毒、ソーシャルディスタンスの確保、定期的な換気等を徹底した。

(主な事業)

- 戦災復興記念館運営
- 宮城野区文化センター運営
- 若林区文化センター運営
- 太白区文化センター運営
- 広瀬文化センター運営

[文化センター等の利用件数・利用率]

		利用件数			利用率		
		4年度 (件)	3年度 (件)	前年度比	4年度 (%)	3年度 (%)	増 減
戦災復興 記念館	記念ホール	85	28	303.6%	62.7	28.9	33.8
	展示ホール・会議室等	808	454	178.0%	53.6	36.5	17.1
宮城野区 文化センター	コンサートホール	297	226	131.4%	73.2	56.9	16.3
	シアターホール	223	187	119.3%	61.2	49.6	11.6
	リハーサル室等	2,894	2,120	136.5%	91.3	74.3	17.0
若林区 文化センター	ホール	18	136	13.2%	56.9	38.0	18.9
	展示ホール等	3,138	2,675	117.3%	84.0	77.5	6.5
太白区 文化センター	楽楽楽ホール	176	177	99.4%	47.1	48.3	△ 1.2
	展示ホール等	3,720	2,840	131.0%	88.8	76.8	12.0
広瀬 文化センター	ホール	119	183	65.0%	58.9	49.7	9.2
	リハーサル室	933	632	147.6%	97.1	83.3	13.8

※備 考

・利用件数 部屋毎、日毎に算出

・利 用 率 総利用日数÷総開館日数

(総利用日数＝各室利用日数の合計)

(総開館日数＝各室利用可能日数の合計)

※戦災復興記念館 ホール・会議室等：R3. 7. 1～R4. 11. 30 休館（改修工事）

※若林区文化センター ホール：R4. 4. 1～R4. 6. 30 休館（R4. 3. 16 発生の地震により施設が損傷したため）

ホール：R4. 7. 27～R5. 3. 31 休館（ホール天井スリット部落下のため）

※太白区文化センター ホール：R4. 3. 17～R4. 7. 31 休館（R4. 3. 16 発生の地震により施設が損傷したため）

※広瀬文化センター ホール：R4. 10. 1～R5. 3. 31 休館（ホール舞台機構改修工事）

イ 文化活動育成支援事業

発表の場における効果的な演出のアドバイスや、日頃の活動を把握して他の団体との連携をコーディネートする等、利用者の技術の向上に寄与できるよう取り組んだ。また、若年層を対象とした照明・音響・舞台機構等の操作を体験できる機会を提供し、若い世代の文化の担い手育成に取り組んだ。

(主な事業)

宮城野区文化センター

■ 舞台スタッフラボ

アマチュア演劇等の担い手の育成を目的として、せんだい演劇工房 10-BOX との共催で照明、音響、舞台制作等の演劇に関するスタッフワークを体験しながら、舞台技術の豊かさと表現の楽しさを味わう講座を実施した。また、集大成として演劇ワークショップと連携し、リーディング公演を開催した。

- ・実施日：令和5年2月4日(土)ガイドダンス(基礎・発展コース共通)
令和5年2月5日(日)～2月9日(木)(基礎コース)
令和5年2月10日(金)「高校/学生演劇クロニクル」(オープン講座)
令和5年2月11日(土・祝)～2月19日(日)(発展コース)

- ・会場：宮城野区文化センター シアターホール他
- ・参加者数：延べ120名

最終日の2月19日(日)には、「みやぶん演劇学校」参加者が出演するステージ「しょうじきなきこり」を上演した。(2回公演・入場者数：延べ188名)

■ 冬の親子ステージ探検隊「みんなで劇場を探検してみよう！」【第10回】

冬休みの小中高生親子を対象に、舞台芸術に興味を持つきっかけと、思い出づくりの場を提供するため、体を使った表現活動に関するワークショップと照明や音響機器の操作等の舞台技術を体験するワークショップを開催した。

- ・実施日：令和5年1月9日(月・祝)
- ・会場：宮城野区文化センター シアターホール
- ・参加者数：8組22名

若林区文化センター

■ バックヤードツアー【第8回】

文化センターや併設の図書館の利用者拡大や舞台演出の担い手育成のきっかけづくりを目的に、併設施設の若林図書館と連携して、小学校5・6年生と中学生を対象に企画した。開催直前にホール天井スリット部が落下し、ホールが利用休止になったため、ホール客席と舞台の見学は中止して開催した。普段は立ち入ることができない図書館の裏側やホールの調光室・音響室探検や仕込み見学、また、参加者が一日舞台演出者となって照明及び音響設備を操作し、舞台演出を生み出す仕組みを学びながら、その効果を実際に体験した。

- ・実施日：令和4年8月6日(土)
- ・会場：若林区文化センター ホール等
- ・参加者数：10名

広瀬文化センター

■ わくわく体験！音ってなあに？光ってなあに？【第1回】

コンサートホールの基幹設備である照明と音響の基礎知識を知ってもらい、舞台芸術に興味を持ってもらうきっかけとすることを目的に、近隣の児童館と連携し、利用児童を対象として実施した。

- ・実施日：令和5年3月18日(土)
- ・会場：川前児童館 遊戯室
- ・参加者数：3名

◎中止した事業

太白区文化センター

- ・ホールのうらがわたんけんツアー
(R4.3.16発生の地震による楽楽楽ホール損傷復旧工事のため)

広瀬文化センター

- ・バックステージツアー(ホール舞台機構改修工事のため)

③ 地域の歴史に関する伝承事業

地域の人々の生きた歴史や文化を知ることによって地域住民の連帯感の醸成を促し、未来を担う次世代へそれらをつなげていくために、仙台市の戦災復興の歴史を中心としてこれらを語り継ぐ事業を実施した。

ア 戦災と復興に関する資料収集と伝承活動

戦災復興記念館内にある写真や図書、資料等を適切に保管しながら、資料展示室の運営や広瀬文化センター・太白区文化センターにおける出張展示、貸出等による伝承活動を行った。

イ 地域における戦災と復興の歴史を語り継ぐ事業

小・中・高等学校の校外学習や体験学習において、市民センター等と連携し、語り部による戦災体験談や資料展示室の収蔵品の解説等を行い、次世代に戦災と復興の歴史を語り継ぐ事業を実施した。

ウ 戦災復興展の開催

当時の人々の暮らしや思いを知り、復興を遂げた仙台の歴史を振り返る機会として、仙台空襲があった7月10日頃に開催する。戦災と復興に関する資料の展示や市民団体による語り部発表やパネル展示等を行った。令和4年度は戦災復興記念館が大規模改修工事のため、トークネットホール仙台(仙台市民会館)で実施した。

- ・開催日：令和4年7月9日(土)～7月17日(日)
- ・会場：トークネットホール仙台(仙台市民会館) 1階ロビー、小ホール等
- ・入場者数：延べ1,820名(大人1,633名 中学生以下187名)
- ・内容：

□ 企画展「仙台空襲の夜～同時に狙われた4都市」(1階ロビー)

仙台・空襲研究会の協力により、昭和20年7月9日から10日の真夜中の仙台空襲と同時に狙われた岐阜、和歌山、堺の爆撃中心点や焼失域を印した米軍の写

真資料を中心に展示した。

□ 企画展「戦災を語り継ぐ人々」（1階ロビー）

（株）プランニング・オフィス社らしく編集部の協力により、戦災復興記念館で語り部として活躍されている方々をフリーライターの菅井理恵氏が文を、写真家の宍戸清孝氏が写真を担当して紹介した。

□ 実物資料展示（第2教養室）令和4年7月12日（火）～14日（木）

「戦時中の暮らし」をテーマに、戦災復興記念館資料展示室の展示品の一部を展示した。

□ 紙芝居～空襲体験聞かせて・聴いて（地下1階視聴覚室）

- ・紙芝居の上演 百束 たき子

「あゝ満州仙台村 ～仙台村開拓団員物語～」（令和4年7月9日（土）48名）

- ・仙台空襲体験者によるお話（空襲体験聞かせて・聴いて）

新沼 富寿子「満州からの引揚げとその後の生活」（令和4年7月9日（土）48名）

広瀬 喜美子「戦争中の子供の頃」（令和4年7月10日（日）20名）

今野 幾代「その時私は小学五年生だった」（令和4年7月10日（日）20名）

□ ステージの催し物（地下1階小ホール）

- ・仙台空襲から77年 朗読でつづる《鎮魂の譜》vol.25

「もうひとつ考えたいこと」 出演：朗読グループ〈風〉（令和4年7月9日（土）173名）

- ・「平和祈念コンサート」（令和4年7月10日（日）421名）

出演：伊東洋平バンド、旭ヶ丘森林太鼓隊、仙台市立荒巻小学校卒業生、仙台市立台原中学校合唱部、岩切小HK'S SKY、Enter Language Academy、NHK少年少女合唱隊

□ 平和学習（出前授業）

東二番丁小学校（令和4年7月8日（金）27名） 講話後、防空壕見学実施

上杉山通小学校（令和4年7月13日（水）170名） 講話後、伊東洋平氏のミニコンサート

エ 平和学習・出前講座の実施

市民センターが地域から募り、養成した語り部ボランティアと一緒に、写真パネルや実物資料を持って、地域の小学校や中学校の授業や市民センター等に出向き、「出前講座」を実施。地域の語り部が、戦中戦後の地域の様子や生活を語って聞かせ、戦災復興記念館職員等が仙台空襲や当時の生活様式について解説した。また、主に小学校等での授業や来館しての講話、展示室見学等の職員等と語り部ボランティアによる平和学習を実施した。

東二番丁小 27名、上杉山通小 170名、東長町小 130名、榴岡小 158名、加茂小 65名、立町小 28名、宮城婦人会館「実楽来講座」16名

④ 地域の文化情報等の提供・相談事業

仙台市の刊行物や観光パンフレットなどの市政全般に関する資料の収集・提供等に併せて、独自で収集した地域イベント、歴史、文化に係る資料等を宮城野区・若林区・太白区文化センター内に設置された情報センターにおいて提供した。

また、市民のコミュニティ活動に関する問い合わせや地域で抱える問題等について、市政情報を活用した相談事業を行った。

	宮城野区情報センター			若林区情報センター			太白区情報センター		
	4年度	3年度	前年度比	4年度	3年度	前年度比	4年度	3年度	前年度比
相談件数	216	158	136.7%	159	331	48.0%	564	789	71.5%
閲覧者数	6,432	4,335	148.4%	12,546	9,038	138.8%	19,528	15,626	125.0%
貸出冊数	0	20	0.0%	5	12	41.7%	4	3	133.3%
販売冊数	29	37	78.4%	17	25	68.0%	39	44	88.6%

(4) 地域コミュニティまつり支援事業（定款第4条第1項第1号の事業）

① 地域コミュニティまつり助成事業

地域づくりの基礎となるお互いの連帯感や共同意識、信頼関係を築くための共通の活動や経験の場として、また、地域住民の交流促進を図るために、仙台市内の町内会などが企画・実施するコミュニティまつりの経費の一部を、世帯区分に応じた金額で助成した。なお、令和4年度は、コロナ禍で休止していた地域行事の再開を支援するため、助成額を1万円増額した。

助成件数 131件、助成金額 5,464,621円

(申込件数 166件)

		青葉区	宮城野区	若林区	太白区	泉区	合計
助成 件数 (件)	4年度	37	26	12	27	29	131
	3年度	10	7	4	9	6	36
前年度比		370.0%	371.4%	300.0%	300.0%	483.3%	363.9%
助成 金額 (千円)	4年度	1,546	1,078	504	1,129	1,207	5,464
	3年度	310	176	126	281	186	1,079
前年度比		498.7%	612.5%	400.0%	401.8%	648.9%	506.4%

② 地域コミュニティまつり相談・支援事業

コロナ禍におけるコミュニティまつりの実施内容などについて相談を受け、他団体事例等の情報を提供するなどして、コミュニティまつりの実施を通じた地域づくりを支援した。

(5) 交通の安全確保による地域コミュニティづくり支援事業

(定款第4条第1項第6号の事業)

① 幼児・児童・保護者・高齢者に対する交通安全教育事業

安全・安心で住みよい地域社会づくりのために、交通事故防止と交通ルール順守・マナーの向上をめざして、市内の幼稚園・保育所や児童館などにおいて、幼児・児童と保護者を対象とした交通安全教育を実施した。また、減少傾向にあるものの全交通事故死者の約5割を占める高齢者の交通事故防止に対する意識高揚を図るため、市民センターの老壮大学や老人クラブ、社会福祉協議会、仙台市シルバー人材センターなどの高齢者が関係する団体からの依頼を受けて交通安全教育を実施した。なお、事業の実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を徹底して実施した。

また、教室開催予定先での新型コロナウイルス感染により、教室開催が困難な場合には、開催日変更により対応して実施したことから、開催回数・参加者数が増加した。

なお、やむを得ず開催を中止した幼稚園・保育所や児童館には職員が交通安全教育に使用できる交通安全キャラクター「ピタッとぴーた」を用いた「ぴーたの交通安全紙芝居」や「ペープサート」を作成して提供し、職員による交通安全教育実施に向けた支援を行った。

【交通安全教育の活動実績】

区 分	実 施 回 数					参 加 人 数				
	幼児等	児童	保護者	高齢者	計	幼児等	児童	保護者	高齢者	計
4年度	228	11	22	30	291	5,863	323	135	1,029	7,350
3年度	163	13	9	4	189	5,027	259	58	144	5,488
前年度比	139.9%	84.6%	244.4%	750.0%	154.0%	116.6%	124.7%	232.8%	714.6%	133.9%

② 各種イベントと連携した交通安全教育事業

地域交通安全活動推進機関や市内各地区交通安全協会をはじめとする各種団体と連携し、春・秋に開催された交通安全県民総ぐるみ運動に参加して各種の街頭キャンペーンを共催した。また、YouTubeを活用し、オリジナル交通安全キャラクター「ピタッとぴーた 交通安全動画」4編を新たに配信するなどの交通安全啓発活動を実施した。

③ 自転車の安全運転啓発及び違法駐車等防止に関する事業

市内中心部のアーケード通り等において、「仙台市自転車の安全利用に関する条例」を踏まえつつ、自転車の安全利用を図るための啓発活動を実施した。また、国分町を中心とする仙台市の違法駐車防止重点地域において、市民の安全で安心な生活環境の保持・向上につなげるため、違法駐車防止等の助言・啓発活動を実施した。

【自転車の安全利用の助言・啓発活動実績】

区 分	活 動 状 況	
	活動回数	助言件数
4年度	305	295
3年度	314	269
前年度比	97.1%	109.7%

【違法駐車等防止活動実績】

区 分	活動回数	助言件数	移動件数	移動率
4年度	101	1,285	395	30.7%
3年度	106	1,307	447	34.2%
前年度比	95.3%	98.3%	88.4%	△ 3.5

2 地域コミュニティ活動支援のその他公益目的事業の推進に資する事業

(定款第4条第1項第2号及び第3号の事業)

【収1】費用：160,899千円

地域にある多種多様な団体が安全・安心・快適に活動できるよう、地域・文化活動拠点施設等の維持管理及び運営を適切に行い、ホールや会議室等を利用に供した。その際に、公益目的の利用が見込まれない場合に限り、公益目的利用以外の施設の貸与等を行った。

3 勤労者の福祉の向上に資する事業（定款第4条第1項第7号の事業）

【他1】費用：225,794千円

仙台市内の中小企業に勤める勤労者、事業主に対して、生活の安定と福祉の増進に寄与するため、勤労者福祉増進事業（グリーン・パル事業）を実施した。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により従前どおりに実施できなかった事業もあったが、Webを利用した市内飲食店利用補助や、ご家族でお楽しみいただけるギフトカード・地場産品割引販売（福袋企画）など、新たな手法を用い、工夫しながら取り組んだ。

（事業所及び会員数）

区 分	令和4年度	令和3年度	前年度比
年度末事業所数	830	820	101.2%
年度末会員数	23,598	23,726	99.5%

（1） 在職中の生活安定に係る事業

会員やその家族の祝い事への各種祝金、見舞金などを給付するとともに、教育資金の融資や負担の少ない掛金での共済を紹介するなど、生活安定に係わる事業を実施した。

事業名	区 分	令和4年度	令和3年度	前年度比
共済事業	給付件数	5,950	5,710	104.2%
	給付額(千円)	94,071	93,074	101.1%
融資紹介事業	利用件数	3	7	42.9%
	保証料補給額(千円)	29	218	13.3%

（2） 余暇活動に係る事業

レジャー施設、指定店、各種チケットの割引販売、委託保養所利用助成、会員生活応援のギフトカード・地場産品割引販売（福袋企画）などの主催事業を実施した。

事業名	区 分	令和4年度	令和3年度	前年度比
委託保養所 宿泊施設 紹介事業	利用者数	750	598	125.4%
	助成金額(千円)	1,517	1,302	116.5%
余暇活動 主催事業	開催数	48	37	129.7%
	参加者数	10,872	6,719	161.8%

(3) 健康維持増進に係る事業

人間ドック受診料、インフルエンザ予防接種費用などの一部助成、スポーツクラブ施設利用時の会員証提示による割引利用助成などを実施した。

事業名	区 分	令和4年度	令和3年度	前年度比
人間ドック等 利用助成事業	助成件数	223	209	106.7%
	助成金額(千円)	1,358	1,246	109.0%
健康維持増進 主催事業	開催数	1	3	33.3%
	参加者数	179	233	76.8%

(4) 自己啓発に係る事業

会員の技能習得、目的にあったスキルアップなど、各種スクール受講料、国家資格取得受験料への助成を実施した。

事業名	区 分	令和4年度	令和3年度	前年度比
自己啓発 主催事業	開催数	14	16	87.5%
	参加者数	576	547	105.3%
国家資格取得 等助成事業	利用者数	315	310	101.6%
	助成金額(千円)	1,539	1,517	101.5%

(5) 老後生活の安定・財産形成に係る事業

会員が将来に備えるための年金・定年退職セミナーや資産形成運用セミナーを実施した。

事業名	区 分	令和4年度	令和3年度	前年度比
老後生活・ 財産形成 主催事業	開催数	2	2	100.0%
	参加者数	53	45	117.8%
個人年金共済 紹介事業	利用件数	83	88	94.3%

(6) 情報提供事業

各種サービス内容や手続方法などが、分かりやすく利用しやすいように「グリーン・パルだより」や「ガイドブック」を発行した。さらに、ホームページやYouTube、SNS（LINE、Facebook、Twitter、せんだいE企業だより）を活用して最新情報をいち早く提供するように努めた。

また、会員獲得に向けて、会員拡大支援員の導入による訪問営業や市広報紙・事業者説明会などでのPR、会員紹介キャンペーンなどの勧誘活動に取り組んだ。

(事業例)

- グリーン・パルだよりの発行 年8回
- ガイドブックの発行 年1回(4月)